



Ed-Tech事業の新サービスについて

2026年3月4日（水）収録

株式会社富士山マガジンサービス（東証・名証3138）
取締役CFO 佐藤鉄平

Fujisan.co.jp
雑誌のオンライン書店

東証スタンダード・名証メイン：3138

< Edtech事業への進出理由 >

	Fujisan.co.jp	Ed-Tech
商材	雑誌コンテンツ	教育コンテンツ
ユーザー層	40代以上	10代～20代
ユーザー属性	ミドル～富裕者層	富裕者層
サービス単価	低い	高い
市場規模	減少	維持～拡大

- 「Fujisan.co.jp」がアプローチできていないユーザー層（若手）へのリーチ手段の獲得
- Ed-Tech事業のターゲット層が医学部、難関大学を目指す学生層、地方の国立大学を目指す、地域社会の将来のリーダー層候補
= 将来的に「Fujisan.co.jp」ユーザーとして「趣味」、「余暇」に資金を投下できる可能性が高い層（将来ユーザーの囲い込み）
- サービス単価の高いユーザー層の獲得が可能→将来的なクロスセルの可能性

<Edtech事業で狙っている市場 ニッチを攻める、ニッチを狙う>

- 集団塾が合わない生徒、寄り添うことで力を発揮できる生徒に寄り添える塾
- 大手集団塾の補完塾＝英語、数学を主軸とする「苦手」科目の克服、得意を伸ばす塾
- 私立医学部をメインターゲットとする専門特化塾＝生物、化学、物理を伸ばせる塾
- 中学受験においては、「英語」入試型、「特化型」を目指す生徒に寄り添える塾
- 地方の自学自習をしている生徒に寄り添える塾、地方の地元塾に通塾している生徒に対する補完機能を提供できる塾

- 大手塾と競合しない市場、ポジションを狙う＝「ニッチ」で構わない、「ニッチ」を狙う
→ 集団授業主体の大手塾と競合しない、専門科目特化型、個別指導型
- 地域塾と連携できる塾、地域塾を補完できる塾
→ 単科講座の開講、他塾にも開放している「保護者会」による情報提供
→ 提携塾への合宿、直前講習、直前自習室開放（予定）
- 塾がない地域、家計の問題等で「自学自習」している生徒に寄り添える塾
→ 沖縄 「オンライン予備校」（学習管理&オンライン質問教室&オンライン自習室）

< Edtech事業 業績 >

2025年12月期 >

- 売上高 160百万円（前年同期比237.8%増）
 - セグメント損失 △20百万円（前年は△33百万円）
- ※M&A関連手数料を除くと事業開始1年で黒字化を達成

<2026年 合格速報>

獣医学部（翔進）で浪人生全員が合格を達成

他にグループ予備校の

沖縄オンライン予備校 琉球大学医学部（地域枠合格）

早慶、関関同立に多数合格

医学部も1次合格者多数

※詳しくは当社グループThreadsまで。

https://www.threads.com/@fujisan_academia



Edtech事業 想定顧客層

主力サービス 個別指導について

個別指導：最短ルートを突き進む「オーダーメイド型」

講師と1対1（または1対2程度）で対話しながら進めるスタイル。

<メリット>

- **完全オーダーメイドのカリキュラム**：苦手科目の克服や、特定の大学（単科医大など）の特殊な出題傾向に合わせた対策が可能。
- **質問がしやすい**：疑問点をその場で解消できるため、消化不良が起きにくいのが最大の強み。
- **スケジュールの柔軟性**：部活動や学校行事、あるいは社会人受験生などの不規則な生活に合わせて受講時間を調整可能。

<デメリット>

- **費用が高額**：講師を独占するため、集団授業に比べて授業料は高い。
- **総額費用が見えない**：常に追加請求があるのではないかと不安との闘いを強いられる。
- **競争意識が芽生えにくい**：周囲にライバルが見えないため、自分の立ち位置を客観的に把握しにくい。
- **先生が確保しづらい**：大都市圏の生徒でないと、講師とマッチングが難しい。

<EdTech事業 新サービス 従来型個別の欠点を克服>

新サービス：「精鋭オンライン」

- 内容：
- ①オンラインによる完全個別指導＋学習管理
※週13コマ、全30週の個別指導を予定
 - ②座学科目＝集団授業講座の動画をすべて見放題（昨年度収録分）
 - ③競争の機会、他の生徒との切磋琢磨
・合宿（千葉）、土日演習クラス（横浜で開講）
 - ④国立大学向け共通試験対策プログラム



グループ予備校で磨き上げた医学部合格プログラムを地方・社会人受験生向けに提供を開始

費用：通常合計　　：5,640,000円（税込）

→コース価格：5,000,000円（税込） ※個別指導の追加・直前学校別対策は別費用

2026年上期 Edtech事業の展開予定

- 2026年3月 医学部向けオンライン講座「精鋭ベーシック」講座開講
- 2026年3月 「合格への軌跡」合格者報告会（予定）
- 2026年4月頃 東京校舎（中高一貫生向け）開講 & 中学受験「英語受験」向け英検講座開講（予定）
- 2026年4月頃 卒業生・社会人向けTOEIC講座開講（予定）



EdTech事業 Fujisan Academia Group



Fujisan
Academia
Group



ホームページ



デジタルパンフレット



免責事項

- ◆ 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ◆ 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- ◆ 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ◆ 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。